

外国人との共生を学ぶ

能美 多文化交流で意見交換



外国人との共生について意見交換する出席者＝能美市寺井地区公民館で

地域に住む外国人との共生について学ぼうと、県国際交流課は能美市寺井地区公民館で「多文化共生地域交流会in能美」を開いた。

能美市内外の国際交流協会や民間の交流団体、同市職員のほか、市内在住の外国人ら約八十人が参加。日本人男性と結婚して同市に住む中国出身の南

園遊さん(右)の講演を聴き、学習した。

南さんは、来日当初、食文化や生活習慣の違いに戸惑ったことを紹介。「もっと日本語教室も地域の人と交流する場を設けてほしい」などと訴えた。

参加者は四、五人のグループに分かれて意見交換。「外国人が地域を行き来できる交通網の整備が必要」「託児施設付きで、母親が学べる日本語教室があれば便利」などと発言した。(布施谷航)

プロアマ9人が熱演

金沢の「アンゲルス」公演始まる



「フェスタ・バイカル」の一環として行われた劇団「アンゲルス」の公演。金沢市民芸術村で

金沢市を拠点に活動するプロ・アマ混成の演劇グループ「劇団アンゲルス」の公演「鴨丸」として、約五十人が詰

め掛けた。

ロシア人のA・ウァンヒーロフ原作の演劇で、恵まれた人生を送っていた男が突然、生きる調子を狂わせ、鴨丸に行くことだけに情熱を注ぐようになったというストーリー。

前衛的な音楽で幕開けした舞台には、九人の劇団員が登場し、抑揚のない独特なせりふ回しやそろいの白い装束などで幻想的な世界を表現していた。

公演は三日もあり、午後三時から午後七時半からの二回。入場料は一般三千円、高校生以下千円。

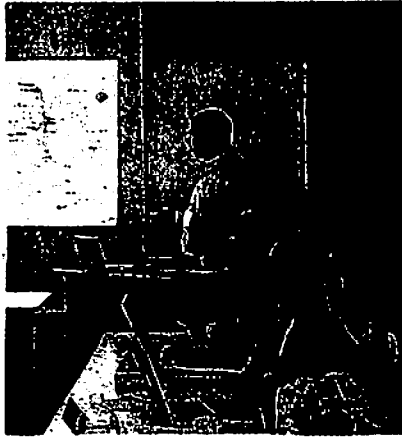
(橋原繁一)

22.12.3
北中(朝・夕)
国際交流課

里山保全研修 成果を母国へ

金沢で発表会

海外からの研修員が、研修員が母国でど
県内の里山保全から学
んだことを発表する会
が二日、金沢市内であ
り、研修員が母国でど
のように応用するかな
どを披露した。
研修員はプロジェクト
を披露した。



県内の里山の保全方法を自
国でどのように生かすか発
表する研修員＝金沢市内で

ターを使いながら母国
の農村の役割や資源を

(中村文人)

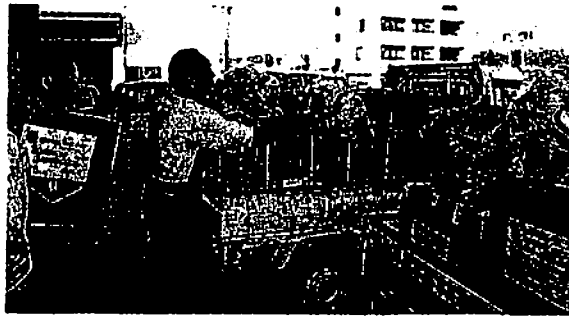
守っていく方法などを
発表。参加者からは
「農村が目撃達成でき
なかったとき、政府は
何か罰則を考えるの
か」といった質問が出
た。

国際協力機構(JI
CA)が主催した研修
にはアジア、アフリ
カ、中南米の十三カ国
から計十四人が参加。
十一月十三日から三日
まで、能登地方の里山
保全運動などを見て回
っている。

22.12.3
北中(朝・夕)
国際交流課

フィリピンの子に靴を

野々市LC、6810足寄贈へ



フィリピンに送るサンダルやスニーカーをト
ラックに詰め込むLC会員＝野々市町堀内で

靴を買えないフィリ
ピンの子どものため
に、スニーカーやサ
ンダルの寄付を呼び
掛けた。

ていた野々市ライオン
スクラブ(LC)に、
十一月末までに六千
八百十足が寄せられ
た。
クラブ会員が二日、
トラックに積み込み、
善意の贈り物をフィリ
ピンに送る。
LCは、国際友好事
業として十月五日～十
一月三十日の期間に募
集。野々市町のほか
に、白山市や小松市か
ら多くのスニーカーや
サンダルが寄せられ

た。
沢田英一会長は「皆
さんの好意によりたく
さん集まった。フィリ
ピンの子どもたちに
いクリスマスプレゼント
になった」と笑顔を見
せていた。
スニーカーやサンダ
ルは、フィリピンの首
都マニラ郊外に位置
するケンソンのピック
キスLCを通じて、
子どもたちに配られ
る。
(高橋貴仁)

金沢井波線 桜並木に

県ユネスコ協会青年部が、金沢市の県道金沢井波線沿いに桜並木を作ろうと植樹や保全活動に取り組んでいる。同協会員が一人で始めた活動に加わり、授業の合間を縫って作業に励んできた。メンバーは2日も、南砺市へと続く県道がピンク色で彩られる日を思い、草刈り機でフシつるなどの除去に汗を流した。

青年部が活動を始めたのは、それまで一人で植樹活動を行っていたユネスコ協会員の寺山真さん(82)と金沢市天神町1丁目から協力を依頼されたのがきっかけ。

二俣町出身の寺山さんは「二俣への生命線」という県道の景観向上などを目的に8年前から植樹に取り組んでおり、現在は青年部と共に同活動に携わっている。

苗木は、県健民運動

県ユネスコ
協会青年部
植樹と保全

推進本部が取り組む「健民桜を所づくり運動」の協力を得て調達した。今年までにサルスペリやサンカも合わせて約300本が植えられている。

この日の作業でも「赤ちゃんを育てるよ



除草作業に励む学生と寺山さん(中央)
—金沢市戸室新保

うに心を持ってやってくれよ」などと指導した寺山さん。県道を使って南砺市から金大に

い」と笑顔を見せた。里山保全の活動案発表 JICA研修員 国際協力機構(JICA)北陸の研修で石川の里山保全の取り組みを視察していた世界13カ国の研修員14人が2日、金沢市本町2丁目のリファール金沢で、学んだ成果を生かした今後の活動計画案を発表した。

研修は今年初めて企画し、アジア、中南米、アフリカから森林保全や地域振興に携わる行

政官が参加した。11月17日から県内で研修を積んだ14人は、帰国後の活動展開などを話した。研修は3日まで。

台湾から1200人誘客

県議会12月定例会代表質問

県議会12月定例会は2日、本会議を再開し、**榎野賢昭(自民)**、**榎井廣明(新進)**、**山**の両氏が代表質問した。台湾誘客の

らなる推進を求めた榎井氏への答弁で谷本正憲知事は、台湾のニュースターカーの顧客向けウォーキングツアーで来夏、ツアー客1200人の県内訪問が決まったことを明らかにした。ツアー客は県内に2泊3日滞在し、余沢と和倉温泉で宿泊する。

来夏、ウォーキングツアー

金沢、和倉温泉で宿泊

知事「来年は弾みの年」

台湾のニュースターカーは「La New Car(ラニュー)」。毎年顧客向けに日本ツアーを組んでおり、来年は名古屋・滋賀県・和倉温泉・富山県・石川県(金沢、和倉温泉)・富山県・名古屋を順に巡るコースを企画した。8～9月に1組1200人を計10回送客する。

観光DVDも制作し、このほか谷本知事は、社員向け奨励ツアーの事前視察のため、台湾の保険会社や製薬会社など10社のツアー担当者が今月28日から県内を訪れることを紹介。来年3月に金沢市内で開催される「第4回日台観光サミット」の参加者に配布するた

観光DVDも制作し、このほか谷本知事は、社員向け奨励ツアーの事前視察のため、台湾の保険会社や製薬会社など10社のツアー担当者が今月28日から県内を訪れることを紹介。来年3月に金沢市内で開催される「第4回日台観光サミット」の参加者に配布するた

絞った誘客活動を展開しており、今年はゴルフ客346人で計1224泊、スキー客208人で計812泊したが、今年から誘致を始めたサイクリング客は2組23人が訪れ、計92泊した。

県によると、県内の外国人宿泊者の半数近くが台湾からの観光客で、2008年は9万1056人、昨年は5万1151人が県内に宿泊した。さらに県は近年、台湾のゴルフ客やスキー客など照準を

兼六園 尖閣の波は及ばず?

中国人客過去最多に

石川を代表する観光地・兼六園への中国人来園者が十月末現在、三千四百三十人となり、昨年一年間の三千四百三十四人を超えて過去最多になる情勢となった。九月に起きた中国漁船衝突事件の影響が懸念された十月単月も四百六十五人で、九月単月(四百五十六人)を若干上回る「健闘」を見せ



県交流政策課によると、県内ホテルなどから中国人観光客のキャンセルがあったとの話はなく、影響があったとも聞いていないという。同課は「今後どうなるか分からない」と慎重な姿勢も崩していないが、十月に日本を訪れた中国人旅行者が微減となる中、県内観光地への中国人旅行者の入り込みは堅調に推

兼六園を訪れる外国人観光客の中で存在感を増しつつある中国人客の10月28日、金沢市で

「PRなど奏功」と見通し

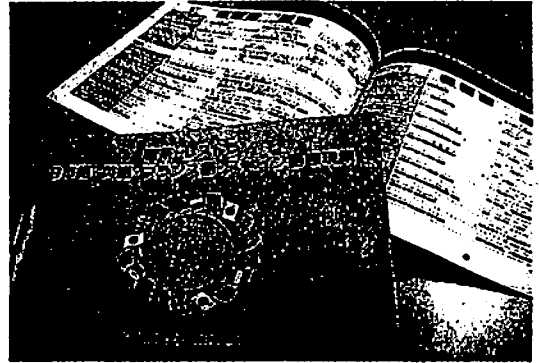
移。影響は現時点で限定的とみられている。同課によると、十月上旬の中国の大型連休「国慶節」に、これまでにない計五本のツアーが組まれ、百五十人ほどが来県したという。「知事自ら今夏に訪中して観光PRするなどの効果で、金沢の知名度が徐々にアップしているのかも」などと推測する。

昨年(2012年)の県内の外国人宿泊客数は十三万一千人あまり。一昨年のリーマン・ショックの余波などで主力の台湾、韓国入客が前年比40%近く減らす中、中国入客は七千五百八十六人と10.8%の伸びを示し存在感を増しつつある。政府観光局の推計によると、今年十月中旬に日本を訪れた中国人客は前年同月比1.8%減の十万六千四百人で、九カ月ぶりにマイナスに転じた。同局は「漁船衝突事件を受けた訪日旅行の意欲減退」などが背景

と分析。事件を受け大口観光客などのキャンセルもあった。

欧米のお客応対に 外国語表現集作製

石川の喫茶飲食組合



飲食店で使うフランス語やスペイン語の会話をまとめた表現集

石川県喫茶飲食生活活用してもうするため、衛生同業組合は、欧米外国語表現集を作った。二百部を発行し、ソートカードは使えます。

組合員や観光関係の団体、自治体などに無料で配っている。表現集はA4判、十四ヶ国語、フランス語、スペイン語、韓国語の表現集を発行。組合員に配ったところ好評だった。最近では県内で欧州からの観光客が増えているため、新バージョンの発行を決めた。

同組合は一年前にも英語と中国語、台湾語、韓国語の表現集を発行。組合員に配ったところ好評だった。最近では県内で欧州からの観光客が増えているため、新バージョンの発行を決めた。

政府は2日、国民の休暇取得に際し、日本を5つのゾーンに分けて春と秋の2回、5連休を順番に取っていくとの分散化案を真直す方向で検討に入った。内閣府の特別世論調査で、この分散化案に反対する人が56・1%に上り、賛成の28・1%を大きく上回ったためだ。

世論調査 反対56%

休暇分散化 不評で見直し

観光庁は分散化による観光需要の押し起こしを目的としたが「見直し案を国民に提示し、合意形成に努めたい」と国民視目録改正案の来年の通達国会への提出は検討しない

政府の休暇分散化案に対する賛否

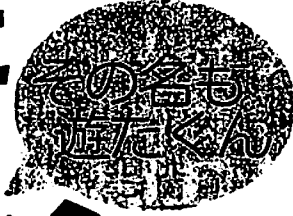


「国連事務・交通機関や観光地の混雑が緩和される」の72・3%、「休みを取りやすくなる」の48・2%、「経済活動が活性化される」の42・1%が上を占めた。政府の分散化案について「内容を知らなかった」は35・1%止まり。「内容は知らないが、取り組みがある」とは知っていたが41・6%、「取り組みも内容も知らなかった」が20・8%だった。調査は10月に全国の成人男女3千人を対象に実施された。

政府の休暇分散化案 全国を北海道東北北関東四国近畿中国九州沖縄の5つのゾーンに分けて春と秋の2回、5連休を順番に取る。10月には北から順に1週間ずつで月次の3連休を設ける。土日を含めて5連休が可能になる。

5%が上を占めた。政府の分散化案について「内容を知らなかった」は35・1%止まり。「内容は知らないが、取り組みがある」とは知っていたが41・6%、「取り組みも内容も知らなかった」が20・8%だった。調査は10月に全国の成人男女3千人を対象に実施された。

奥能登観光に 格安タクシー



30分2千円

来月から運行

広域圏事務組合



奥能登で今冬、観光地を周遊する格安タクシーが登場する。奥能登広域圏事務組合が冬の観光シーズンをにらみ、1月9日から3月上旬にかけて、通常30分3千円程度の運賃を2千円に抑えた「遊たぐん」を運行させ、公共交通がバス中心である市と町の回遊性を高める。奥能登への二次交通を探り、2014(平成26)年度末の北陸新幹線金沢開業に備える狙いだ。

バスと二段構えで周遊

「遊たぐん」は、奥能登と金沢を結ぶ北陸鉄道(金沢市)の特急バスを活用した交通実験の一環で、穴水を起点に輪島、珠洲、能登方面に延びるバス路線を充実させた上で、便数が少ない海沿いや山間部の移動を格安タクシーで補う二段構えで勝負につなげる。

道の駅輪島から10分以内のタクシー乗車場。来月から「格安タクシー」遊たぐんが登場する。 輪島市内

で30分(こ)に2千円の運賃を設定し、実際の運賃との差額は事務組合が補てんする。

交通実験では、25日から、能登有料道路(此木インターチェンジ(穴水町))と能登空港で特急バスと連結させる「ふるさとバス」を運行、実質的な増便で奥能登に足を運びやすくする。事務組合では「遊たぐん」と連動させて酒蔵(輪島市)、ワイン工房(穴水町)を回る「酒蔵街道めぐり」や、附島(珠洲市)や志保海岸、九十九湾(いずれも能登町)を通る「ロマンス街道めぐり」といったコースを提案する。



北陸発
世界行き

43

輪島塗を欧州で紹介

大徹八井漆器工房 八井貴啓さん

新たな光を探す旅



十九歳の時、初めて驚かす。

訪れたフランスで感じ ヨーロッパへ一個だたのは、屈辱に似た気が持って行ったIPO。持ち。日本人を相手に d (アイポッド) ケーする気配もない。「二スに、「取りあえず一度と行くもんか」と思 万個」と注文を受けつつが、二十年余りをた。手づくりのため大経た今、輪島塗に求め 豊生産できない輪島塗られるものを探しにフランスを訪れる。

大徹八井漆器工房の店内には、伝統を守る になった。



CDプレーヤーやキーボード (手前) などにも漆を塗り、新たな分野にも意欲的な八井貴啓さん＝石川県輪島市横地町で

い。今、目の前にあるし、ヒット商品になっものが素晴らしいかと。うかが、価値判断にな

父親(おや)さんは、十年、二十年先を見てもらう」と言い聞か

新制中学を卒業後、戦すえた時、「先代や先後の焼け野原の時代か

ら輪島塗に携わる。のを盤石なものにする。先陣がつくった看板

を求められているか。いものですと証明し身を包んだ雰囲気はど

「と貴啓さんに注文 見つめる。一方で、後継者とな PAN」を売り込むの

日常生活の中に輪島 塗を、ことし、食器の職人がいない。売りなっている。

洗浄機で洗える輪島 上げ減少も歯止めがか 塗腕「朱鷺」を開発 からない。「輪島の名

文・小塚 泉 写真・西野一則

気概と進取の機運が同 厨する。底光りするお 腕の存在感は伝統の重 み。その横にはスキャ ナーやCDプレーヤー ヨーロッパでは器を手 一、燭台、色鉛筆のケ ースも。「え、これも 輪島塗？」と来店者を 梶を手に、「軽

食習慣の違いから、 思わぬ反応もあった。

「熱いものがさめな 冷たいものはいつまで

るはずの輪島塗のよ

やつい・たかひろ

石川県立輪島漆芸技術 研究所卒。大徹八井漆

器工房の5代目として

島市生まれ。輪島高 修業中。2009年ク

道展」を全国の百貨店

学園(日本画専攻)、 回北の動物大賞展」入

アジア輸出促進 金沢でセミナー

北陸農政局

北陸農政局は二日、農林水産業者や食品加工業者を対象にしたアジア向け輸出促進セミナーを金沢市内で開いた。

日本食材の輸入販売を手掛けるアジア四カ国の貿易会社代表ら四人が、パネルディスカッションした。

香港で和食店などを経営するフランキー・ウーさんは、しょうゆを例に「北陸産の新鮮な原料使用といくら強調しても、北陸自体の知名度が低く、日本の大手メーカー品との違

いが伝わりにくい」と指摘。「兼六園など観光PRもセットにしたイメージ戦略も絡め、商品の特長も明確にして売り込む工夫が必要だ」と提案した。

台湾の果物輸入販売会社役員の大島愛さんは、富山県南砺市の干柿が台湾でも贈答用に人気があるとした上で、「珍しい果物があれば、もっと高い物でも売れる」と紹介した。

セミナー



アジア向け食品輸出の注
意点を指摘する大島
会社役員ら＝金沢市内で

シエトロ金沢が タイ投資セミナー

シエトロ金沢は一日、タイの投資環境と商習慣に関するセミナーを金沢市内で開いた。講師のシエトロ海外投資アドバイザー、

矢島洋一さんは、最高八年の法人税免除など「税制面の優遇措置が多く、製造業の進出には手厚い恩典がある」と、中国と比べて進出

時のハードルが低い点を強調。円高傾向で日系企業の進出が前年同期の数倍に急増しており、初めての海外進出先に選んだ企業が三、四割を占める点も特長に挙げた。

北陸三県の機械や部品などの製造業を中心とした二十七社の社長ら三十人が出席した。

南米日系人 進む日本定住

就学問題 足踏み

国、及び腰しわ寄せ地方に

多くの南米系日系人が来日するきっかけとなった大管轄民法改正から二十年。定住化が進む一方、社会保険や子どもの教育など課題は山積みだ。地域で対応に追われる自治体は外国人集住都市会議をつくり、受け入れ姿勢の明確化をはじめ、国が直接関わるよう求めてきた。だが、国の積極的な姿勢は見えないまま。地方との温度差はいまだに大きい。(前東海本社報道部・梅田誠昭)

「外国人の日本語学習機会は現行法制度では保障されておらず、早期の対策が求められている」。東京都内で先月開かれた外国人集住都市会議。報告に立った中野直輝・愛知県小牧市長は、地域の実情を訴えた。外国人の日本語習得は生活に欠かせず、職場で求められる能力水準も高い。しかし、企業内に日本語教室が設けられるケースは極めて少ない。

中野市長らは、外国人雇用の企業認定制度の創設などを要望。「国による費用助成や税制上の優遇を」とも求め、地方財政の厳しさを感じさせた。南米系住民は一九九〇年以降、製造業の盛んな地域を中心に急増した。一昨年のリーマン・ショック後は「雇用調整弁」として真っ先に失職し、帰国者が相次いだ。一方、言葉の壁などで再就職に苦しみ、生活に困窮しても、日本で暮らし続ける道を選んだ世帯も少なくない。深刻なのは、地域に隠れている不就学児の存在だ。学校に行かないことを気づかれぬまま、就学年齢を経過する子が後を絶たない。外国人の子に教育を受ける権利はあっても、外国人の親には子に教育を受けさせる義務はないため、「子どもが就学義務化が不可欠」(牧野光朗・長野県飯田市長)との声も上がる。ほかにも社会保険未加入など、自治体はきめ細かな対策に苦しんでいる。国士館大文学部の鈴木江理子准教授(外国人政策)は「各省庁の縦割り行政の弊害や、国の基本方針が存在しない現実から、しわ寄せを地方が負わされてきた」と指摘した。

石川県内の外国人登録者数

順位	市町村	登録者数	総人口に対する割合
1	金沢市	4632	1.01%
2	小松市	1806	1.66%
3	能美市	787	1.62%
4	加賀市	733	1.01%
5	白山市	714	0.64%
6	七尾市	488	0.83%
7	野々市町	318	0.62%
8	かほく市	270	0.77%
9	能登町	223	1.12%
10	津幡町	202	0.54%
	県計	11417	0.97%

※登録者数は2009年12月末現在。総人口は同年12月1日現在の推計人口

小松市は独自に施策

石川県内で人口比で市のホームページで外国人登録者が最も多いのはポルトガル語などについて小松市。ブラジル人による生活情報、各種手がその大割近くを占め、続きの申請方法を掲げるといって、ポルトガル語を話す国際交流にも力を入れる。ブラジル人を配属するなど、シール国籍の子もたち市は「市民として」安や保護者のためポルトガル語の教育相談員一人を委嘱。学校から依

頼があれば派遣して保護者との懇談会での通訳、通知文の翻訳などに対応している。市の担当者は「ブラジル人は派遣社員が多く、雇用が不安定」として日本語を身につける大切さを強調。国の施策拡充に期待する。

地方から声を上げ続ける外国人集住都市会議。十年目に入った活動を見てきた鈴木准教授は「国が関から見えない問題は關心を向けたい」と話した。ただ、国の動きは鈍い。外国人集住都市会議の討論会で、自治体トップが総合的な政策を担う「外国人庁」の設置を促すと、小宮山洋子厚生労働副大臣は「政権を二期八年支えていたときも、省庁再々編をいらいらして、地方に背中を押される形で、国は今年八月に省庁横断の基本指針をつくり、来年三月末までに行動計画がまとまる。だが、子どもの就学義務化をはじめ、新たな法整備への意思は見えてこない。省庁内においても「国民全体で議論する合意プロセスが必要だ」(末松規内閣府副大臣)と、優先順位は低い。

中国で新たな移民ブーム

急速な経済成長が続く中国で近年、新たな海外移民ブームが起きている。改革開放路線開始後の1980年代、軍が民主化運動を鎮圧した天安門事件後の90年代に続く第3波とされ、子職による不正蓄財を国外へ持ち逃げする例も少なくないようだ。

北京在住のある中国人経営者は最近、市価の7割程度で高級マンションを購入した。「海外移民したい官あるシンクタンクの研究

「米国留学でグリーンカード(永住許可証)取得」で家族が移住した公務員「カナダに移民のチャンス」。中国紙には移民仲介の広告が躍る。中国紙によると、2009年度だけで米国へ6万5千人、カナダ

上。國務院(政府)や広東省深圳市が6月以降、相次いで家族が移住した公務員の監視強化策を打ち出したことから事態の深刻さがうかがえる。

富裕層 新天地求める

子どもの教育やさらなるビジネスチャンスを新天地に求める富裕層が多い」といわれる。また、家族を海外移住させ一人で国内で働く官員は少なくとも2万人を超え、国外流失した資産は1億(約12兆7千億円)以上の新語も定着。汚兆元(約12兆7千億円)以上の思惑もあるようだ。

「局長級以上の幹部の半数以上が留学などの名目で家族の一部を出国させているといわれる」と話す。不正発覚など本人の身に危険が迫れば海外へ、高度な自由が保障されている香港の永住権も隠れた人気が取得が困難なため

「一國二制度で大陸に比べへ2万5千人、オーストラリアへ1万6千人が移住した。」

不正蓄財を持ち逃げ

カリブ海諸国などの国籍を形式的に取得した上で「外国人」として香港の永住権を申請する人もいる。

ただ、移民手続き後も昔のように祖國を捨てるわけではなく「生活や仕事の拠点は依然中国」というケースも増えている。

北京にある移民仲介業者団体の斉立新会長は「中国の旅券は査証(ビザ)免除で行ける国が少なく不便。また、中国を拠点に貿易をする場合、外国企業の看板があれば、より利益が増える」と指摘した。

(北京共同)

